

平成21年度中間評価結果（平成21年12月）

[研究開発課題名] 高度画像監視センサネットワーク技術の研究開発

[委託機関名] オムロン株式会社

項目	評価 ランク	所見	再評価 ランク	再所見
総合所見	A	<p>(技術)</p> <p>本研究課題では、画像中の人物をトラッキングし、その行動認識から異常事象を検出、また、ネットワーク監視により行動認識を高度化するいわゆる高度画像監視センサネットワーク技術の実現を目的として、6つのサブテーマを設定し、研究開発を進めている。本年度は実データの収集上の問題を克服し、その進捗を実験結果の数値等を用いて成果として示している。また、今後の実フィールドでの実証に向けて、各サブテーマにおいて、性能改善・処理速度の向上とプロト機開発を進める計画も明らかにしており、最終目標達成の見通しが得られていると判断する。</p> <p>知的財産形成・実用化又は事業展開に向けての活動、今後の研究体制なども含めて、総合的におおむね妥当な進捗結果である。</p>	—	<p>(技術)</p>
		<p>(事業化)</p> <p>大学から新たな技術を導入し、これまでの委託者の事業実績、ノウハウを活かし発展させる事業化パターンを実施しており、産学協同のプロジェクトとして本研究開発の意義は大きい。事業化の観点から見ると、事業計画・戦略、資金計画、知的財産、収益等については、評価できるものを持っており、事業化が進展することも見込まれる。今後、アプリケーションの開拓、装置・システムの低価格化などについてさらに企業努力することを期待する。</p>		<p>(事業化)</p>

(注)総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しております。